

開設年度		開講部局	
2010		共通教育	
科目名			
先人に学ぶリーダーシップII			
英語科目名			
Japanese Leadership II			
前後期		履修期	開講区分
後期		2期	毎週
科目形態	単位数	大分類(科目)	中分類(分野)
講義	2	教養科目	分野2
受講学部学科			
全			
担当教員		担当教員所属	
奥 健一郎		稲盛アカデミー	
連絡先(TEL)		連絡先(MAIL)	
099-285-8329		koku@eng.kagoshima-u.ac.jp	
オフィスアワー(授業時間外の対応)			
講義中に指示。			
共同担当教員			
なし			
キーワード1		キーワード2	
専門基礎能力		視野・判断力・探求能力	
授業概要(目的・内容・方法)			
<p>先人のリーダーシップを、常に現代社会との事象と関連づけながら講義をする。  人間としての生き方・モラルのあるべき姿を、彼らの生き様を通じて様々に感じ取れる内容の講義とする。  最終的には、様々なケースを通じて、自分なりの人生観・リーダーシップの枠組みを構築できることを目的とする。</p> <p>取り上げる人物は、以下を予定。</p> <p>1. 聖徳太子 2. 吉田松陰 3. 西郷隆盛 4. 坂本竜馬  5. 新渡戸稲造 6. 松下幸之助 7. 安岡正篤 8. 中村天風</p>			
学習目標			
<p>日本を中心とする賢人のリーダーシップを、人間としていかに生きべきか?という視点から講義する。  わが国において先人がこれまで築きあげてきた伝統・歴史・思想を通じ、人々をリードしていく上での考え方や  道徳を考えることを学修目標とする。  そのために日本の伝統的思想・リーダーシップを再評価し、次世代を担う人間としてのあり方を学生とともに考  えていく授業とする。自立できる人間形成に重点を置く。</p>			
授業計画(15回に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
<p>現代社会において必要とされるリーダーシップを、モラルの問題と関連させながら深めていく。</p> <p>第1回 はじめに  第2回 日本の歴史の整理  第3回 先人の遺したもの  第4回 現代社会の課題  第5回 リーダーシップの必要性(1)  第6回 リーダーシップの必要性(2)  第7回 聖徳太子  第8回 吉田松陰  第9回 西郷隆盛  第10回 坂本竜馬  第11回 新渡戸稲造  第12回 松下幸之助  第13回 安岡正篤  第14回 中村天風  第15回 結び</p>			

受講要件	成績の評価基準
なし	授業中の小テストと試験で総合的に成績評価をする。 授業中の小テスト 5 割、試験 5 割が大まかな目安。
教科書	参考書
参考書と資料配付を教科書的に利用。	幸之助論(ジョン・P・コッター著/ダイヤモンド社)
その他	